









# 40年度賃金闘争

# 新賃金要求 一方二〇〇円 月額五、〇〇〇円 一九%アップ

## 40年度賃金要求案決る

本年度の賃金については、1月25・26日の2日間、東京で開催された炭鉱中央賃金専門委員会が、要求額は、一月二〇〇円月額五、〇〇〇円、一九%増の要求案案が決る。

この要求案案一万〇〇〇円を、去る2月9日の代議院で審議し、この要求案案を承認した。これは去る3月の第二中央賃金専門委員会に於て、下部討議で出された意見の集約を行ない、最終的には、4日の中央賃金委員会が、要求案を決定されることとなり、われわれが生活向上の手段として、賃金を上げに力を集中するのは適切なことであり、賃上げ二〇〇円を要求する。その理由は次の通りである。

### ▽あいつく物価上昇

昭和39年度は、池田内閣による経済政策が、物価の上昇に繋がったが、それ以上に、賃金の上げは、一・三%に過ぎない。賃金の上げは、一・三%に過ぎない。賃金の上げは、一・三%に過ぎない。

### ▽労働者の生活は

昭和35年から38年までの間に、一戸当たり実質国民所得は、四・四倍、生活費は二・四倍に増加している。生活費は二・四倍に増加している。

労働者の生活は、生活費の上昇に追いついていない。賃金の上げは、一・三%に過ぎない。賃金の上げは、一・三%に過ぎない。

### ▽社会保険住宅生活

社会保険住宅生活、賃金の上げは、一・三%に過ぎない。賃金の上げは、一・三%に過ぎない。

分配率下がり続けている。賃金の上げは、一・三%に過ぎない。賃金の上げは、一・三%に過ぎない。

**組合員**  
組合員の名簿

- 1月9日～1月26日現在  
入籍  
松田長信 福進 兵庫  
柳橋春彦 福進 兵庫  
武内 勇 福進 兵庫  
麻生和男 福進 兵庫  
岡 健太郎 福進 兵庫  
西野勝生 福進 兵庫

- 村上一 徹 内電 馬込  
宮崎卓行 福進 兵庫  
高原 勇 福進 兵庫  
久保昭文 内電 俣野  
藤本 司 福進 兵庫  
並内武司 内修 馬込



- 大渡 依次郎 内修 仙崎  
18年7ヶ月
- 中四 佐吉 仕職 仙崎  
18年7ヶ月
- 成 喜一郎 内修 沙町  
23年
- 自己退職  
佐藤 誠 副 採炭 寮  
4年11ヶ月
- 大串 広 仕職 沙町  
12年11ヶ月

- 植木 積 福進 丘町  
6年7ヶ月
- 鈴木 島 忠 採炭 仙崎  
15年4ヶ月
- 東 和三部 福進 寮  
3年2ヶ月
- 長田 志英 採炭 仙崎  
15年2ヶ月
- 宮崎 隆市 内電 兵庫  
11ヶ月
- 小島 幸義 内修 大明  
5年5ヶ月
- 田中 圭介 採炭 沙町  
7年7ヶ月
- 田中 福男 仕職 沙町  
9年6ヶ月



**旬刊**

伊王島労働組合  
教育部長 島野 敬  
編集責任 寺岡 新  
印刷 岩水 印  
岩水 印

### ▽生活性と賃金の推移

生産性の向上に対する実質賃金の遅れ、即ち、一三・九%の生産性の向上に対して賃金は、一・一・三%に過ぎない。この賃金上げの大きな遅れを、本年度の賃上げで取り戻すために闘いを進めよう。

### 他産業との賃金上昇率比較

年次	石炭大手	金産業大手
34年	3.6%	6.7%
35年	2.3	8.9
36年	7.4	13.6
37年	6.1	10.5
38年	5.8	8.8
39年	8.1	12.2
平均	5.8	10.1

炭鉱の賃上げ率が、他産業に比して著しく低いことがわかる。

### 1月分会計報告

収入	861,048円
支出	656,522円
本月余剰金	204,526円

収入の部	金額	内訳
会費	844,211	
会費入料	12,837	
会費入料	4,000	
手手	361,048	

支出の部	金額	内訳
役員報酬	47,270	会長、副会長、書記
役員報酬	28,208	社会部部長、庶務部
役員報酬	3,720	主席
役員報酬	1,800	顧問費
役員報酬	19,600	用立掛金
役員報酬	516,645	責任者、事務用品
役員報酬	8,914	新入費、備前費
役員報酬	7,050	事務用品
役員報酬	10,762	電話、電報
役員報酬	8,310	文庫、日九通、福商
役員報酬	7,205	印刷費
役員報酬	854,522	印刷費
合計	854,522	

### 賃金要求の考え方

第一に、消費者生活の向上に際し、公的力の援助を必要とする。賃金を上げるだけでなく、賃金の要求を維持するためには、最低5%のスクイードアップを必要とする。

第二に、最近の労働市場の緊迫化の中で、労働力の確保を必要とする。賃金の要求は、労働力の確保を必要とする。賃金の要求は、労働力の確保を必要とする。

第三に、わが国の経済は、これまで引続けた、一六%程度の成長を、なしにして引続けた。われわれは、一六%程度の成長を、なしにして引続けた。われわれは、一六%程度の成長を、なしにして引続けた。

第四に、更にわれわれは、これまでの物価の上昇、消費者生活の向上に、賃金を上げを要求する。賃金を上げを要求する。

要求案案、一方二〇〇円の考え方  
全団員の一月の平均賃金は二〇八八円であり、これを一九%アップすると二〇八八円と二〇〇円とである。

一九%の内訳は  
40年賃金要求は二〇〇円と見込  
賃金を二分と見込  
賃金を二分と見込  
賃金を二分と見込

新賃金 要求額 一方二三百円に決定 抗外員の最賃一万三千元に

中斗で賃斗態勢を確立

新賃金の要求額ならびに、斗争態勢を決める。第一回中央斗争委員会が、去る四日東京で開かれ、決の方針を決定した。

斗争態勢の確立と交渉の方式は

中央統斗会は、二業団三放射線で行い、それ以外の各支部（中小）は、北海道を除き、東部並びに九州ごと、

賃上げされた賃金は？ われわれの本年度賃金は、いよいよ賃上げ要求一万二、三百円、斗争態勢を確立して、本格的賃上げの斗いに取り組みたい。

二、三年前とほとんど変らぬ給料袋の中味

賃上げされた賃金は？ われわれの本年度賃金は、いよいよ賃上げ要求一万二、三百円、斗争態勢を確立して、本格的賃上げの斗いに取り組みたい。

は、常任中斗委員会において決定する。以上、全業団の意志統一し体となって、新賃金斗争に取り組む態勢を確立した。

出炭賞与1月分

Table with 2 columns: Category (出炭, 一人当り, etc.) and Amount (28,300 tons, etc.)

Table with 3 columns: Location (中尾, 藤田, etc.), Work (内修, 掘進, etc.), and Date (2月27日, etc.)

賃金要求書

昭和39年4月1日既、昭和40年3月31日までの賃金要求書中、昭和40年4月1日既、昭和41年3月31日までの賃金を、左記の通り決定致し、要求書とす。

- 1 従前の各人別支給給に、在籍職員一人一方当り平均一〇〇円増額を加算する。
2 従前「助」である「管理」等の管理業務にたずさわる者については、右加算額他に職員及び一般員との均衡を保つため、必要額を別途加算する。



家は売ります 地地(賞可) 場所 (浪場)より徒歩 8分

各組合のうそぎ 全員が対立なしの役員投票で 嘉穂労組役員改選終る

会社は寮長常任廃止を提案 組合は廃止阻止で斗争 労自職への斗争

Advertisement for 'Chinetsu' magazine featuring a portrait of a man and the text '今井静義 掘進寮' and '内場豊喜 車道 沙町'.

Advertisement for 'Chinetsu' magazine with the text '旬刊' and contact information for '組合 発行所' and '編集者'.



四〇年度上期出炭 一六三、〇〇〇屯を計画

人員は現状維持で

設備は保安施設を強化

伊王島の山元労働組合は、四月の大災害で、その開催もこのごとくついでに、去る7月16日開催され、会社は40年度上期の出炭計画と人員計画、保安対策を発表した。

会社の出炭体制

採炭切羽は四切羽(上層二切羽)を保持

切羽の延べ採長は六四〇米程度を維持し、採炭人員は三五〇名として、全採炭率平均産率を荒南で六・六割を確保したい。

昭和40年度上期出炭計画

Table with 8 columns: 月別(4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 上期計), 項目(採炭日数, 出炭計画). Total output planned: 163,000 tons.

昭和40年度上期採炭計画 (私の移行)

Monthly coal production schedule table with columns for months (4-9) and cut types (e.g., 3区D4号深坑, D6号C区).

会社の掘進計画

主要坑道 掘進準備中

四、六七五米を掘進

掘進は、一八〇名程度の人坑道、第四区採炭連邦、十一員二四先(二先は三交代、即A二尺層採炭準備、十一部一先は一交代を編成したい)を行う計画である。

四区採炭開始計画は「42年下期の予定」

四区の開採は、四月の重大災害や下掘げの労働力の不足から、計画より若干おくらせて五尺層着炭点まで本卸は六〇〇米、連卸は六五〇米を掘進予定である。

全般的に人員を補充せよ 会社の人員計画

人員は現在の二〇〇〇名程度を確保する方針で、今後の自然減耗を見込み入替希望者、退職者は補充する。

本年度の保安施設改善は 電気関係を重点に実施

予算に四、〇〇〇万円を計上

- ① 電気関係改善内容: ①油火閉閉器の空气中化... ②油火閉閉器の空气中化... ③油火閉閉器の空气中化... ④油火閉閉器の空气中化...

保安の確立は!! 住宅や水の問題は どうしてくれるのか!!

保安の確立は!! 住宅や水の問題は どうしてくれるのか!! 伊王島労働組合は、四月の大災害で、その開催もこのごとくついでに、去る7月16日開催され、会社は40年度上期の出炭計画と人員計画、保安対策を発表した。



旬刊 伊王島労働組合 教宣部 印刷 伊王島労働組合 印刷 伊王島労働組合 印刷

# 東映 につぼん泥棒物語

監督 山本 薩夫  
主演 三国 連太郎  
佐久間 良子

## ― 試写会の感想から ―

商業映画としてこれだけ真実とヒューマニズムを追及していることは素晴らしいことだ。心の底から笑わせながら、それでいて結構追及すべき所はちゃんと追及しており、立派な映画だ

(公務員)

私たちは就職や色々な制約のため、民主的な運動に実さい参加するとなると、しりごみしてしまふ、この映画をみて、真実と正義を守ることがいかにむづかしいかということと同時に、そのためには、やはり自己の良心をつらぬき、闘う勇気が必要だと痛感した。

(学生)

新しい松川の斗いのために！  
権力に屈せず遂に真実と良心を守つた「どろぼう」の物語  
笑いと涙の中に、ひしひしと迫る感動の傑作 !!

この映画は松川事件の外伝にあたるものだと聞いたが土蔵破り前科四犯の男が刑事の恐迫に屈せず、目撃した事実 “犯人は土地訛りのない、背の高い九人組だつた” と証言する（これは保釈中の自分の犯罪をバラシ、前科者だと天下に公表することになるのだ）場面に、ほんとうに感動した。思わず拍手した。正義と真実を守る松川の斗いの歴史が、この映画を映画独占の企画にのせ得たのだと思う。

(労務者)

5月15日〜24日(10日間) 榎津東映館 同時上映 **多い雲**

「につぼん泥棒物語」上映実行委員会

自由法曹団 弁護士 横山 茂樹  
長崎地区労働組合会議議長 本 山 政 市



# 期末手当 三九、〇〇〇円

生命を賭けた生産協力で  
この額とは、とてもやりきれない

## 伊王島の期末手当は

今期九〇、〇〇〇円(要求)を獲得しており、一カ月分は額五万円、で29日に一括して、もつた。実数は、全商業中でも最も改善率が高く、三九、〇〇〇円も巖石に水と期末手当の総支給額。一、去る四月には、三十柱の構一、三、四、五〇〇万円です。わ、恐れたらるガス機が発生して、四、五〇〇万円の期末手当、一カ月、常に、身を危険におびやか、他業では、二カ月分以上とす。され乍ら、働いているわらわ

## 一律支給 三〇、五〇〇円

## Rは〇・〇五八六〇七九 支給日 八月七日(土)

期末手当要結状況			
炭 鉱 各 社			
組 合 名	要 求 額	要 結 額	
伊 王 島	50,000円	39,000円	
鳥 手 島	50,000	39,000	
松 嶋 大	50,000	44,300	
江 追 手	50,000	32,000	(分割払)
炭 大 手	50,000	39,000	(分割払)
貝 島	50,000	37,000	( )
日 島	50,000	37,000	( )
	50,000	25,000	( )
他 産 業			
三 菱 船	88,000	78,500	
S S K	85,000	73,500	
長 相 銀	77,360	56,601	
時 相	32,800	32,800	
九 産 電	197,000 (年間)	176,000	
全 九 産	140,000 ( )	110,535	
長 九 産	110,300 ( )	76,693	
時 産	109,800 ( )	103,000	

## 期末手当要結内容

- 一、昭和39年10月1日より昭和40年3月末日までの完全在籍者で、協定日現在々々職員に対し一人当たり、三九、〇〇〇円を支給する。(内、七〇〇円は控除)
- 二、算定期間  
昭和39年10月1日より昭和40年3月末日までとする。
- 三、期間中入籍者  
算定期間中に中途入籍し、支給日当日までの在籍職員については、その在籍期間に応じ、完全在籍者との均衡を考慮した額を別途支給する。(除く組専、期間中全欠者)
- 四、期間後入籍者  
昭和40年4月1日より以降入籍し、支給日当日までの在籍職員については、次の金額を別途支給する。  
4月中入籍者 六、九〇〇円  
5月中入籍者 五、四〇〇円  
6月中入籍者 四、〇〇〇円  
7月中入籍者 三、七〇〇円  
7月の金額は仮込みです。
- 五、期間中全欠者  
算定期間中の全欠者については、次の金額を別途支給する。  
公傷一人当たり 一八、八〇〇円  
私傷一人当たり 一四、八〇〇円  
右協定額(仮込み)に左記を正としてアラスタールAをつけてる。
- 六、期間中退職者  
期間中に休年、死亡、業務上傷病により退職した職員には、従来通りの全額を別途支給する。  
昭和40年4月1日以降  
昭和40年4月1日以前  
休年、死亡、業務上傷病により退職した職員は、協定日現在々々者として全額を支給する。

## 出炭賞与 6月分

8月18日支払	
出炭	31,100トン
一人当り	29.17トン
人員用	1,068人
人達	20.0トン
採 炭	81円05銭
掘 運	68円88銭
仕 組	80円70銭
間 接	48円32銭
坑 外	39円88銭
女 子	27円92銭

## 期末手当配分内容

※一律支給 成人男子 30,500円 女子 24,400円  
 一律日割 30,500 - 182日 - 167円58銭  
 ※R=0.0586079×6ヶ月基準内賃金  
 (請負給+固定給+家族給+入坑手当+公傷金80%)  
 ※長欠見舞金 30日以上 2,300円  
 10日増母 770円加算(対象人員64人)  
 20日以上 970円  
 10日増母 200円加算(対象人員80人)  
 (注) 新統欠者の人は、一律支給は30,500円あります  
 ※完全長欠者 (39/10-40/3)  
 私傷全欠者 2人 8,800+4,000円(友愛配分)

※期間後入籍者 (39/10-40/3)  
 4月中入籍者 5,400円  
 6月中入籍者 4,100円  
 5月中入籍者 5,400円  
 7月中入籍者 3,700円

※期間中入籍者 (39/10-40/3)の計算は下記の通りになります。  
 一律支給 13,000円……(注) 3月31日に入籍の人にもあります。  
 日割計算 30,500円 - 13,000円 - 17,500円 - 182日 - 96円19銭  
 96円19銭×在籍日数(入籍した日から3月31日まで)  
 R計算は = 基準内賃金(請負給+固定給+家族手当+入坑手当+公傷金80%)×0.0586079  
 従って = 13,000 + [(96円19銭×在籍日数) + (基準内賃金×R)] - 一人の期末手当  
 ※長欠者の一律日割は歴日数ですから、仮りに1カ月(30日)長欠の人は、  
 182日 - 30日 - 152日×167円58銭 = 25,472円 + 2,300円(長欠見舞金30日分) = 27,772円となります。  
 R計算は実際基準内賃金(5ヶ月分、請負給+固定給+家族手当+入坑手当+公傷金80%)で一般の計算と同じです。

## 8月中の休日は

- 8日(普通出勤)
- 14日(盆休特休)
- 15日(盆休特休)
- 16日(普通出勤)
- 22日(普通出勤)
- 29日(普通出勤)

## 明治赤池鉱

第二会社に移行  
 8月10日から発足する  
 採炭開始を目前に控えて、三福岡田川部赤池町、明治炭業赤池炭田(株)移転、人員、就業、労組、仕立、準備など諸問題の合理化を提案し、7月26日の切替案に反対し、7月26日に期限満了に入り、組合は中核において強力な交渉を続けていたが、7月26日了解点に達したため、会社提案を認め、8月10日から第二会社として発足することになった。

## 各組合のうてき

端島鉱では、女子従業員の手切りなどの合理化案が出されてきたが、益明けの三福岡田川部赤池町、明治炭業赤池炭田(株)移転、人員、就業、労組、仕立、準備など諸問題の合理化を提案し、7月26日の切替案に反対し、7月26日に期限満了に入り、組合は中核において強力な交渉を続けていたが、7月26日了解点に達したため、会社提案を認め、8月10日から第二会社として発足することになった。

三慶端島労組  
 会社合理化案に  
 鋭く対決し斗争中  
 我らの同志よ  
 ガンバレ!!



## 旬刊

伊王島労働組合  
 教宣部発行  
 編集責任 寺島鳥歌  
 印刷 新  
 印刷所 岩倉印刷所

# 出炭減は我々だけの責任でない

## これ以上酷使されては身体がもぢません

### 出炭減は

採掘計画のまづさから

昨年の出炭は、昨年前期と比較して、難か約20%低下した。これは、採掘計画のまづさから

採掘計画のまづさから

採掘計画のまづさから

採掘計画のまづさから

出炭減は、採掘計画のまづさから

採掘計画のまづさから

採掘計画のまづさから

採掘計画のまづさから

採掘計画のまづさから

採掘計画のまづさから

出炭減は、採掘計画のまづさから

採掘計画のまづさから

採掘計画のまづさから

採掘計画のまづさから

採掘計画のまづさから

採掘計画のまづさから



出炭減は、採掘計画のまづさから

### 出炭賞与 7月分

9月15日支払い	
出	26,900ト
入	25.28ト
人	1,064人
連	20.0ト

採	79円71銭
運	87円75銭
仕	59円75銭
庫	43円00銭
外	87円19銭
女	28円03銭

7月の出炭方数に掛ける

### 伊王島の再建は

#### 職場環境、労働条件の改善から

伊王島の再建は、被災後の再建であり、被災者の生活の再建である。

伊王島の再建は、被災後の再建であり、被災者の生活の再建である。



組合員 入退職者

組合員 入退職者

### 不況の波の下で

不況の波の下で

不況の波の下で

不況の波の下で

不況の波の下で

不況の波の下で

不況の波の下で

不況の波の下で

### かみしめる組合の有難さ

かみしめる組合の有難さ

かみしめる組合の有難さ

かみしめる組合の有難さ

かみしめる組合の有難さ

かみしめる組合の有難さ

かみしめる組合の有難さ

### 組合員 入退職者

組合員 入退職者

組合員 入退職者

組合員 入退職者

組合員 入退職者



旬刊 伊王島労働組合

# 意見の喰い違いは冷静に話し合い 暴力による解決は絶対に止めよう

自分の意見は、相手に受け入れて貰うように、説かねばならない場合が、誰でも毎日、職場や家その他の場でも起ります。

普通は、議論し、話し合、あ、または、どうやって解決しませうか……

「普通は、議論し、話し合、あ、または、どうやって解決しませうか……」  
「自分の意見は、相手に受け入れて貰うように、説かねばならない場合が、誰でも毎日、職場や家その他の場でも起ります。」  
「普通は、議論し、話し合、あ、または、どうやって解決しませうか……」  
「自分の意見は、相手に受け入れて貰うように、説かねばならない場合が、誰でも毎日、職場や家その他の場でも起ります。」

「自分の意見は、相手に受け入れて貰うように、説かねばならない場合が、誰でも毎日、職場や家その他の場でも起ります。」

## 民主的労働運動は「人権」を尊重し 相互信頼と理解から

労働組合は社会の縮図である。個人集りであり、またその縮図である。個人集りであることは個人の我や勝手な思いが、即ち、社会の我や勝手を守るために、国家には憲法があり、組合には、組織の維持、強化のための規約、規則が定められている。



## 平和と人類の「敵」 暴力を追究しよう

従つてよく云われる民主的労働運動は、先づ「人命」大敵。第二に「労働運動」、第三に「個人」といふ、組織内の暴力行為者は、個人を集合体かく乱する、あつても充分な額を、多数意見の調和をはかり乍ら、運営されなければならない。個人には勿論、執行委員、役員員など、民主的派は代表表に對し「思想の対立」「意見の対立」或いは「個人

「個人を集合体かく乱する、あつても充分な額を、多数意見の調和をはかり乍ら、運営されなければならない。個人には勿論、執行委員、役員員など、民主的派は代表表に對し「思想の対立」「意見の対立」或いは「個人

## 8月分 出炭費与

— 10月15日支払 —	
出 炭	23,700トント
入 人	22,320トント
入 費	1,062トント
入 用	20,0トント
入 通	90.00円
採 炭	20.0円54銭
販 進	78.0円96銭
仕 繰	87.0円91銭
間 接	51.0円38銭
抗 外	41.0円84銭
女 子	29.0円29銭

8月の出炭方針に掛ける

「……私は大膽に実行し、次に次節年、或は行動員を始めて働けるが、行開時時刻を分送されて行つて、未だ成立してない。これとして、無罪に引かれ、これ……」

「人事の件」に対する役員さんの討議内容……

「代表員会を傍聴して」  
……「あなたも意見は、……」

「暴力を追究しよう」……「暴力を追究しよう」



旬 刊  
組合 伊王島 労働 編集責任 印刷 所  
伊王島 労働 編集責任 印刷 所  
伊王島 労働 編集責任 印刷 所

# またも起きた重大災害

## 災害後の検討ではオッスギル

## 事前にまず点検、整備をしよう

☆「水」の殉職者検討会を開催し、災害原因の究明と対策を検討した。……☆

## 災害の原因

- ① 私の進が遅れていたに、中切道附近近であったので、天候が狂っていた。
- ② アイチンが若うたおっていた。
- ③ 柙棚からフライドチメン等を取っていたため、柙が狂れていた。

## 組合の云い分と会社回答

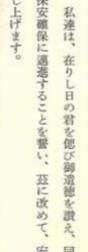
● 仕組作業員七〇名に對し、会社回答。私のゲート、扉風、相当係保員(室)では道の仕組の保安面及び作業保安面の充分な監視、指示が出来ないではなかつた。指示は、私の保安係員の担任相當の係保員を増員して配置替えを行う。ではないか。

## 近藤君の殉職を悼む

故近藤優一君(四十四才)は、十月八日甲午に出動し、十一時E号扉風風道(中切道附近)開栓入丸作業中、午前九時二十五分頃、天候劇落により全身を圧迫、直ちに同僚者の必死の救助作業、そのかいかもなく、午前十時頃、尊くもその職に殉じられました。

故人は、昭和十五年一月に日露戦争、矢野館に所属され、終閉山に伴い三十七年三月二十七日、当風配転をして来られ、御家族は郷里の北松に現れられて永らく寮生活をしておられました。

私達は、在りし日の君を他日御運を讀み、同時に、この災害の原因を究明し、保安確保に邁進すること誓ひ、茲に改めて、安らかな御冥福を祈り申し上げます。



故 近藤 優一君 (44才)



## 会葬御礼

この度、会葬高級の一助に際しましては、御用命にも拘わらず、御重運の御会葬をいただき、誠にありがたございしました。

生前から、故に對する御厚情に深く感謝申し上げ、生前から今日までにお世話になりました皆さん方、故人にかわり一歩拝啓の上、御挨拶申し上げるべきでございますが、失礼乍ら紙面に、心からお礼申し上げます。

八月十五日  
近藤 サエ子

## 就任挨拶

主婦会員の皆様、新役員を代表いまして、御挨拶申し上げます。

主婦会長の定期役員改選が、無事終了いたしましたことを厚くお慶び申し上げます。

この度、会長に三選されました。



大浦 会長

▲アイチンに対するの考え方を反省する。

● 開栓入れ等は、悪化する。事前に入れる様をせよ。会社回答。中切道等の問題、カラは、私が進行して来る前に、開栓を入れておく。

## 災害防止対策

▲ 作業前、作業中は点検を充分に行うこと。

▲ 柙間に入る時は、早急に開栓を入れる。

▲ 柙棚から、カワチ、フレット、チメン等を取らぬこと。

▲ 私の進行を遅らせると問題があるので、進行を遅らせない様に検討する。組合も協力してもらいたい。

※ 成木沢七等、問いは完全にする。

## 主婦会々長に 大浦つる子さん

(敬称略)

役 員	会 長	副 会 長	記 事 長	文 化 部 長	生 活 部 長	見 学 部 長	會 務 部 長	分 會 長	前 山	新 地 区 係 員 の 細 介
大浦つる子	山崎良子	島田洋子	水田都	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子
柴田千代子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子
島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子
島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子
島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子
島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子
島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子
島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子
島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子
島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子

● 世界情勢が、政治問題も大切なことだが、私達として、まず身近な問題と身近な人々の安全が、より大切なことになりました。

● 世界情勢が、政治問題も大切なことだが、私達として、まず身近な問題と身近な人々の安全が、より大切なことになりました。

● 世界情勢が、政治問題も大切なことだが、私達として、まず身近な問題と身近な人々の安全が、より大切なことになりました。



## 旬刊

- |           |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 伊王 島 島    | 島 島     | 島 島     | 島 島     | 島 島     | 島 島     | 島 島     | 島 島     | 島 島     | 島 島     | 島 島     |
| 王 宜 芳 勢 島 | 島 宜 宜 島 | 島 宜 宜 島 | 島 宜 宜 島 | 島 宜 宜 島 | 島 宜 宜 島 | 島 宜 宜 島 | 島 宜 宜 島 | 島 宜 宜 島 | 島 宜 宜 島 | 島 宜 宜 島 |
| 教 宜 島     | 教 宜 島   | 教 宜 島   | 教 宜 島   | 教 宜 島   | 教 宜 島   | 教 宜 島   | 教 宜 島   | 教 宜 島   | 教 宜 島   | 教 宜 島   |
| 福 宜 島     | 福 宜 島   | 福 宜 島   | 福 宜 島   | 福 宜 島   | 福 宜 島   | 福 宜 島   | 福 宜 島   | 福 宜 島   | 福 宜 島   | 福 宜 島   |
| 島 宜 島     | 島 宜 島   | 島 宜 島   | 島 宜 島   | 島 宜 島   | 島 宜 島   | 島 宜 島   | 島 宜 島   | 島 宜 島   | 島 宜 島   | 島 宜 島   |





# 大衆芸能人素安慰感謝労働



会場一ぱいの  
観客は大喜び



11月28日開催  
主催 主婦会  
(上) 夕野のみなさんの  
長崎県民音頭  
成塚節をみる  
会員のみなさん



(左) サア  
歌で踊つて  
(下) マヨネズ  
ザラダス集団



## 10月分賞与出炭

12月15日支払い	
出炭	30,300トン
一人当り	28,18トン
費用	1,076人
採炭	78円11銭
運賃	88円38銭
仕繕	58円58銭
間接	49円17銭
坑外	40円06銭
女子	28円08銭

10月の出勤方敷に据ける

年末年始の休日  
31日、1日、2日、3日  
四日間共特休(〇)制

伊王島で全炭鉱乗下である  
この年間協定方を経営者側が認めなければならないなら、情勢からみると、なかなかの大事業である。経営者側は、相当難色を示しており、この厚いカベを突き破ることが、一大至事である。

年間協定方式  
利益はあるが時期尚早  
この年間協定方式を経営者側が認めなければならないなら、情勢からみると、なかなかの大事業である。経営者側は、相当難色を示しており、この厚いカベを突き破ることが、一大至事である。

利益はあるが時期尚早  
この年間協定方式を経営者側が認めなければならないなら、情勢からみると、なかなかの大事業である。経営者側は、相当難色を示しており、この厚いカベを突き破ることが、一大至事である。

# 期末手当五万円要求

遺族にも別途支給を

## 今期こそ完全獲得を闘いとうろう!!

▼不況ムドを吹とばせ!!  
日九連伊王島、喜恵は、今期々末手要求額、人当り平均五万円と遺族に対する別の別途支給の要求を、去る十一月十七日に念北へ提出した。

今期々末手争いは、全国的な経済不況の不況と石炭界の水準の不振を理由に、経営者の側から、なかなか固い線である。

しかし、日鉄は昨の災害に、

もかわらず、われわれの努力、理解出来るとしても、過去、何としてでも要求貫徹まで、今期に至る毎年、毎期に値重を争って来た、われわれの偉大なメダル争いを、更に今期も徹底に闘い、五万円、更に最近の諸物価の値上り等から判断して、完全獲得へ努力を集中して、要求獲得の闘いを成功させねばならない。

ところで、要求獲得の闘いを成すためには、何となく、闘って、われわれの斗争体制の確立を先決である。

そこでわれわれは、「これ以上は退かれない」という、

全炭鉱は年間協定方式で要求  
全炭鉱は今期々末手より、額十万円(年間)を上げて、年間協定方式を採用し、要求三日より交渉を開始して、

## 期末手当年間協定方式(年間臨給)

### 今期は見送り来期再検討

- 11月1日 30日の遅退者  
入 羅
- 11月2日付  
川野 金生 仕繕 丘町  
古賀 雅由 仕繕 寮  
川口 邦繁 仕繕 寮
- 11月5日付  
池田 武義 仕繕 丘町  
長岡 祥光 仕繕 丘町  
新谷 峯夫 仕繕 寮  
有吉 守 仕繕 寮  
馬場 和彦 仕繕 寮
- 11月6日付  
松本 竹雄 仕繕 丘町  
青野 平清 仕繕 寮  
山下 留吉 仕繕 寮
- 11月10日付  
山本 隆 仕繕 寮  
山本 隆 仕繕 寮  
山本 隆 仕繕 寮
- 以上十名の方々が入籍を

- 11月9日付  
小笹 健児 調査 仙崎  
い致します。
- 11月9日付  
山田 寿 内務 仙崎  
山田 寿 内務 仙崎  
山田 寿 内務 仙崎
- 11月9日付  
山田 寿 内務 仙崎  
山田 寿 内務 仙崎  
山田 寿 内務 仙崎
- 11月9日付  
山田 寿 内務 仙崎  
山田 寿 内務 仙崎  
山田 寿 内務 仙崎
- 11月9日付  
山田 寿 内務 仙崎  
山田 寿 内務 仙崎  
山田 寿 内務 仙崎

# 繰り返される重大災害

## 口先だけの保安優先ではダメ 人命尊重に徹した保安対策を

十二月九日の方において、D2号発生した海難災害に対し、組合は十日各九、時間四十分の時限まで、重大災害に対する会社の責任追究と保安対策の早期確立を求むるとして、十四日には、労働災害検討会を開催し、災害原因の究明と、その対策について検討した。

### Ⅱ 災害の原因(想定)Ⅱ

- ① 阪住を定めるため。
- ② 阪住のマグネシウム、コップと蓋の締め方を十分にしないに
- ③ は、マグネシウム、コップの磨耗不良は無かつたか。
- ④ 上段中心位置を誤って、約五センチの位置であつたため
- ⑤ 天井が落ちて、いたのではないか。
- ⑥ 生盤に運ばれて、規格立柱が不斉であつた。

### 中島治徳君の殉職を悼む

故中島治徳君(二十九才)は、十二月九日の方に出動し、十一朝D2号機で、移乗作業中、午後八時四十分頃、天竜閣落のため安全施設、直ちに同機連の二時間半余に亘る必死の救助作業、その甲斐もなく、尊くもこの職に殉職されました。

故人は江連鉱産所を合理化時に退職、三十一年三月二十三日、当所に入籍されました。

これら現在まで精励して来られ、幼い一人の遺児をおられます。この災害の原因を究明し、保安確保に邁進することを誓ひ、茲に改めて、安らかな御冥途を願ひてお祈り申し上げます。



故 中島治徳君

この度、夫中島治徳の殉職に際しましては、御多用中にも拘わらず、御懇重な御会葬をいただき、誠にありがとうございました。

生前から、故人に殉ずる御厚情に深く感謝申し上げ、生前から今日までに、お世話になりました。御葬儀に、故人にかわり一々拝観の上、御挨拶申し上げます。心からお礼申し上げます。

十二月二十日 中島 幸三



会葬 葬御礼

### Ⅱ 組合の言い分と会社回答Ⅱ

◆ 天井の付き物は落ちせろ  
会社回答 付物の薄とこころは、落ちて本天井を受けつて行へようとする。

◆ 水庄鉄柱不良品は、なにかたのか。  
会社回答 異状発生箇所 20 B1(2B)の水庄鉄柱は、その後も社内使用している。だが、異状は認められない。非常用材料は買戻機は、必ず置くとせよ。

◆ 異状発生箇所 20  
会社回答 要請通りにする。

### 抗口に投書箱を設置 大いに御利用下さい

抗口の番場入口に投書箱(保安の形)を備え付けましたので、大小さまざまな御苦情を、こころから投書して下さい。

良いお年をお迎え下さい  
今年は大昔の年と云われるほど、伊王島では重大災害が連続し、悲しい晴い年です。来年中には、災害のない明るい、普通年になることを祈っております。

### Ⅱ 今後の対策Ⅱ

- ※ 阪住を定める時は、当日付けを充分にして、直ちに再確認すること。
- ※ 阪住の方々は、良くチェックすること。
- ※ 生盤の締めを定める時、コップ、コップの良、不良を査定して、不良品は取替へ。
- ※ 規格立柱を厳守すること
- ※ 規格立柱とは
  - (1) 総長一六六(1B九本)
  - (2) 阪住は最低三本に一本を必要に依つて中柱を打つ。
  - (3) 間柱(独立支柱)を延長した時は、必ず中柱を打つ。
  - (4) 天井打り付けは、三点支持を確認し打つこと。

### 各組合のうごき

全造船機械三菱支部が分裂  
三菱重工長崎造船労働組 産生し  
去る十月七日、国際文化、真の民主的労働組合を構成し、共産党の指導が、組新組合に過半数の運動を遂げ、組合員上、労働者の責任を担い、主体的運動を行はる。

六・一〇二名が加入  
組合は、全造船機械、要長時、新組合に過半数の運動を遂げ、組合員上、労働者の責任を担い、主体的運動を行はる。



組合員 消息	
入 籍	12月17日(22日)の入籍者
河内 勉	業務寮
皆 越 和子	12月7日付
平田 泰爾	瀬島 仙崎
松島 末子	安全灯付町
大坪 キヤキ	車道 沙町
高松 弘子	管理庫 沙町
津 野 守	12月7日付
中野 國太郎	仕稼 6月
田上 一春	仕稼 6月
秋山 定 仕稼	6月
自己退職	
中 島 治 徳	球英 丘町
1年9ヶ月	

### 旬刊

組合 理事 佐藤 安行 佐藤 廉  
重忠 山 12月21日付  
以上七名の方が入籍をされましたので、寛くお願ひ致します。

労働組合主義を基調として、経済的救済を中心に、四重工業統一のため、全力を傾注している。

新組への加入は、組織を増し、十二月十日現在で六・一〇二名を達し、遂に全従業員との連絡を築いた。

旧方では、組合員引き止めるが、政治斗争、共産党のみに終結し、本来の組合の使命(経済斗争、労働条件)に見向きもしない組合に対して、組合員同士、同志を向け、相互に助け合っていくべきである。